

アイヌ芸術家の語る 先住民族の想い

—アイヌモシリと核のごみ問題より—

対面開催!!

会場：沖縄大学1号館6階

1-601教室

定員：先着**125名**まで!!

※本学関係者も要申込!!

2022年 **12.3** (土)
14:00~16:10

※13:30~開場 (事前申込名簿を基に受付を行います。必ず13:50までにご来場ください。)

琉球と同時代に日本に併合され、北海道と名付けられたアイヌモシリ。そこは長らく先住アイヌ民族の地でした。そして今、全国の原発から出る核のごみをこの地に埋めるための調査が進んでいます。

本講座では、阿寒湖畔アイヌコタン(集落)より芸術家3人をお招きします。彫刻家の藤戸氏は、核の恐怖を表現した作品の制作にかかる想いと米国での展覧会の状況を、歌手の山本氏と床氏は、アイヌ民族のサステナブルな生き方を語ります。最後は、2人のパフォーマンスをお楽しみください。

多くの皆様のお申し込み、お待ちしております。

登壇者

プログラム

- 14:00-14:30 趣旨説明「アイヌモシリと核のごみ」(吉井 美知子)
- 14:30-15:00 講演「核の恐怖と私の芸術表現」(藤戸 康平)
- 15:00-15:10 休憩
- 15:10-15:25 講演「アイヌ民族のサステナブルな生活哲学」(山本 栄子・床 みどり)
- 15:25-16:00 パフォーマンス「アイヌ伝統の歌」(山本 栄子・床 みどり)
- 16:00-16:10 質疑応答

司会：宮城 公子 (沖縄大学 人文学部 教授)
登壇者：吉井 美知子 (沖縄大学 人文学部 教授)

ふじ こへい

藤戸 康平(43)

アイヌ彫刻家。阿寒湖畔アイヌコタン「熊の家」で作品を展示販売。原発事故をイメージした彫刻作品「針の歌」を、米国の「風が吹いたら—世界30人のネイティブアート」にて展示中。



やまもと えいこ
山本 栄子(77)

アイヌ文化継承の活動を担うフチ(長老女性)。阿寒コタン在住。歌、踊り、等の文化伝承のほか、差別・偏見の解消にも取り組み、国際的にも活躍。

と 床 みどり(71)

アイヌ文化継承活動を推進。同時に、阿寒コタンにてアイヌ料理店「ポロン」を経営。踊りや歌だけでなく、アイヌの精神性にも注目してほしいと語る。



★受講無料(12/1(木)16時までには要事前申込!! ※定員に達し次第受付を締め切ります。)

※講座終了後、メールでアンケートフォームを送付しますので、回答にご協力ください。



申込先【Googleフォーム QRコード】

●氏名・連絡先・所属等を入力の上送信してください。
お申し込みされた方には、受講上のお願いを記載したご案内文をメールでお送りします。前日16:00までに案内メールが届かない場合は前日17:00までに下記までお問い合わせください。



今後の講座案内をご希望の方は、地域研究所LINE友達申請をお願いします。

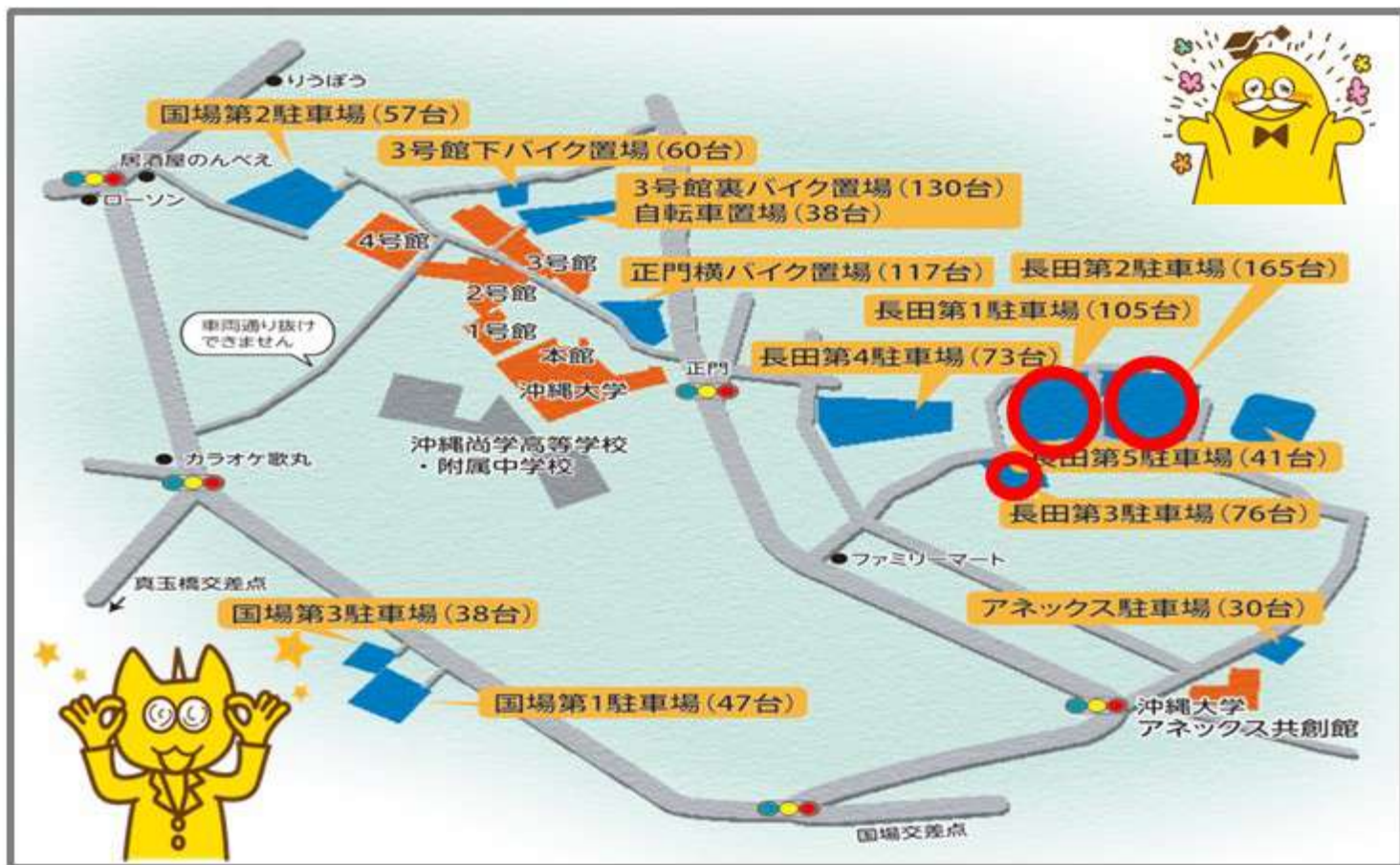
問い合わせ先：沖縄大学地 域研究所 (沖縄県那覇市国場405)

窓口：平日8:30~17:15(12:00~13:00閉室)

Tel:098-832-5599 Mail:chiken-staff@okinawa-u.ac.jp

～駐車場ののご案内～

お車でお越しの方は、下図の**長田第1～第3駐車場**をご利用ください。



～キャンパスマップ～

各校舎の立地は下図のとおりです。会場が少々分かりづらいため下記を参照の上ご来場ください。

- ①正門から図書館前までまっすぐ進む。
- ②図書館前から1号館向けに左へ進む。
- ③赤レンガの階段を最上段まで登る。
- ④右手にある自動ドアから1号館に入る。
- ⑤左手にある階段およびエレベーターで6階まで登る。
- ⑥到着階の教室が会場です。受付をお願いします。

